# Ladybug-tools for Vectorworks インストール手順(暫定版)

# 1.関連ソフトをインストール

#### 1-1. Radianceをインストール(光環境解析用)

https://github.com/LBNL-ETA/Radiance/releases/tag/947ea88a より、exeファイルをダウンロードし、Cドライブ直下にインストールしてください。(バージョンは2021-03-28以降が必要なようです。最新版でもいいかもしれませんが未検証です。)

### 1-2. EnergyPlusをインストール(エネルギー解析用)

https://energyplus.net/downloads より最新版のインストーラをダウンロードしCドライブ直下にインストールしてください。

#### 1-3. Openstudioをインストール(エネルギー解析用)

https://openstudio.net/downloads より最新版のインストーラをダウンロードしCドライブ直下にインストールしてください。

#### 1-4. Blue-CFD 2017-2をインストール (CFD解析用)

http://bluecfd.github.io/Core/Downloads/#bluecfd-core-2017-2 より2017-2版のインストーラをダウンロードしインストールしてください。(参考 https://github.com/ladybug-tools/butterfly/wiki/1.-blueCFD-Core-(OpenFOAM)-Installation

参考にしたBuilding Environment Design.com( https://building-env.com/install ) で紹介されていた以下もインストールして いた方が良いかもしれません。 (関連性は未検証)

#### 1-5. DAYSIMをインストール

https://github.com/sariths/radAux/tree/master/daysim より最新版のインストーラをダウンロードしてドライブ直下にインストールしてください。

#### 1-6. THERM 7.6.01をインストール

https://windows.lbl.gov/tools/therm/software-download よりver**7.6.01**のインストーラをダウンロードしインストールしてください。(最新版ではなく下の方にある 7.6.01が良いそう)

#### 1-7. falsecolor2.exeをダウンロード

https://raw.githubusercontent.com/mostaphaRoudsari/honeybee/master/resources/falsecolor2.exe よりダウンロードし、1-1でインストールしたRadianceのbinフォルダ内 (C:\falsecolor2.exeを保存してください。

# 2.pythonのLadybug-tools関連モジュールのインストール

VW2023以降は下記を参照して lbt-recipes および pillowをインストールしてください。 (butterfly https://github.com/ladybug-tools/butterfly は今後対応予定)

私の環境がVW2022のため、windowsのコマンドプロンプトでのインストール手順です。

#### 2-1. コマンドプロンプトの起動

## 2-2. VectorworksPythonのパスに移動するコマンドを入力

>d:

>cd "D:\Program files\VW2022\Python39"

2-3. pipバージョンアップのコマンドを入力

>pvthon -m pip install --upgrade pip --user

#### 2-4. Ladybugツールをインストール

>python -m pip install lbt\_recipes --user

以前は複数のモジュールをインストールしていましたが、lbt\_recipesをインストールすると関連モジュールを一括でインストールしてくれます。
(※既にladybug関連のモジュールがインストールされていて、ファイル等追加してる場合はインストールが不完全になることがあります。
一度アンインストールして、site-packagesフォルダからladybug,honeybeeなどのフォルダも一旦削除したほうがいいです。
アンインストールは下記のコマンドでしています。)

python -m pip uninstall -y lbt\_recipes ladybug-core ladybug-radiance lbt-honeybee honeybee-radiance queenbee honeybee-energy butterfly honeybee-core lbt-dragonfly dragonfly-core dragonfly-doe2 dragonfly-energy dragonfly-radiance dragonfly-schema dragonfly-uwg honeybee-core honeybee-display honeybee-energy honeybee-energy-standards honeybee-radiance honeybee-radiance-command honeybee-radiance-folder honeybee-radiance-postprocess honeybee-schema honeybee-standards ladybug-comfort ladybug-core ladybug-display ladybug-geometry ladybug-geometry-polyskel ladybug-radiance lbt-butterfly lbt-ladybug lbt-recipes pollination-handlers queenbee-local queenbee-local

| 画 | Microsoft Windows [Version 10.0.22621.1702] (c) Microsoft Corporation. All rights reserved. C: \*Users\*archi>d: D: \*Program files\*VW2022\*Python39" D: \*Program Files\*VW2022\*Python39>python -m pip install --upgrade pip --user Requirement already satisfied: pip in c: \*users\*archi\*appdata\*roaming\*python\*python39\*site-packages (23.1.2) D: \*Program Files\*VW2022\*Python39>python -m pip install | Ibt\_recipes --user

**2-5 ladybug\_vectorworksを**インストール(ladybug toolsとvectorworksをつなぐためのパッケージ)をインストール >python -m pip install ladybug\_vectorworks --user

このとき、合わせて pillow(画像操作パッケージ) <del>butterfly (風解析パッケージ)</del> もインストールされます。 (インストール済みの場合はスキップ) **butterfly未**対応

これでインストールは完了です。

# 3.Ladybug-toolsのコンフィグ確認

コンフィグ設定がおかしいとエラーが出て計算が止まることがあります。 ふたたびコマンドプロンプトにて。

- >ladybug config
- >honevbee confia
- >honeybee-radiance config
- >honeybee-energy config

で内容を確認し、対応するフォルダが存在するか、などを確認してください。

特に"python\_scripts\_path"のフォルダ内にqueenbee.exeなどの各種exeファイルがあるか、"python\_exe\_path"がVectorworksのプログラムファイルになっているかが重要です。

もしうまく動かない場合は下記のノードの説明を読んで各パスを入力し実行した後に再度

>ladvbug config

等で確認してみてください。右のオレンジのラインの部分が設定されるはずです。



# 4.Vectorworksの環境パスを設定

3のLadybug configで表示される "ladybug\_tools\_folder"パスをVWのメニュー> ツール> プラグイン> スクリプトオプションで追加。先程の記事参照。私の環境では「c:¥users¥archi¥appdata¥roaming¥python¥python39¥site-packages」です。

# 5.EPWファイルの入手

EPWは各地点での気象データになり、これを用いて環境解析を行います。 例として ladybug\_vectorworks>etcフォルダに"JPN\_Kagoshima.478270\_IWEC.epw"を置いておきますが、下記のページを参考にEPWファイルは各自入手してみてください。 https://note.com/onoken/n/n4924928982b8

以上でおそらく準備ができたはずです。 サンプルを試してみてください。うまく動くことを祈ります。

動いたよ!やエラー報告をもらえると嬉しいです。(twitter @onokennote もしくは info@onoken-web.com まで)また、情報共有・アップデートのためのDiscordサーバーを運営します。 (未対応のノード開発もこちらで進める予定)興味のある方は招待を送りますので連絡ください!